

令和7年11月21日

市長記者会見

〔案件〕

公共施設の有効利用に向けた取組について



公共施設の有効利用に向けた取組レポート

～「もっとこうだったらいいのに」が形になりました～



公共施設の有効利用に向けたこれまでの取組

- ◆ 公共施設マネジメントの取組を推進するに当たっては、**市民の理解を得る**ことが不可欠
- ◆ 主要な大型公共施設に係る維持管理コスト等の情報について、**分かりやすい形で「見える化」**し、情報共有を図りながら進めることが重要

「はちのへ大型公共施設見える化シート」

- ・ 施設の基本的な情報
 - ・ 管理運営に要した費用
 - ・ 利用状況
 - ・ 地域の活性化等に向けた各施設の取組状況
- ⇒ **施設ごとの特性を総合的に把握**



公共施設の有効利用に関する市民アンケート

- ・ 「見える化シート」の掲載施設を対象
 - ・ 施設利用に関する市民ニーズの把握
 - ・ 各施設の有効利用に向けた具体的取組の検討
- ⇒ **有効利用に向けた四つの方向性を整理**



“市民ニーズ”に沿った施設運営

“理解と共感”を得る分かりやすい情報発信

“施設間連携”や“事業間連携”による相乗効果の発揮

“公民連携”による公共施設の有効活用

この4つの方向性に基づく、各施設の取組を紹介

※令和6年11月～令和7年10月までの取組

4つの方向性に基づく取組事例

「美術館」

“市民ニーズ”に沿った施設運営

- 「ポケモン×工芸展—美とわざの大発見—」など、多彩な展覧会の開催
- ミュージアムショップの充実

“理解と共感”を得る分かりやすい情報発信

- イベント情報をSNS（LINE）を利用し、プッシュ型の情報発信を実施
- 市長記者会見を活用し、展覧会の案内を定期的の実施
- アートファーマーが美術館の魅力を発信（建築ツアーガイド、美術館広報部）

“施設間連携”や“事業間連携”による相乗効果の発揮

- ブックセンター、図書館、はっち、YSアリーナとタイアップ広報・企画の実施
- 小中高や高等教育機関との連携によるアートの学びの推進

“公民連携”による公共施設の有効活用

- はちのへほコテンと連携した音楽イベントの実施
- 美術館外壁や広場を活用した映画上映の実施



©2025 Pokémon. ©1995-2025 Nintendo/Creatures Inc./GAME FREAK inc.
TM, ®, and character names are trademarks of Nintendo.



○施設運営費の状況（単位：千円）

【支出】

	R4年度	R5年度	R6年度
人に係る経費	96,436	106,791	118,169
企画運営費	72,012	57,799	63,412
施設の維持管理費	140,408	152,699	173,656
合計	308,856	317,289	355,237

【収入（財源）】

	R4年度	R5年度	R6年度
使用料	14,590	8,926	8,113
その他	13,926	5,298	9,464
一般財源	280,340	303,065	337,660
合計	308,856	317,289	355,237

○来館者数等の推移

	R4年度	R5年度	R6年度
来館者数	119,983人	109,277人	125,226人

“市民ニーズ”に沿った施設運営

- ジャーナリスト・池上彰さんによる本や読書、書店の魅力・楽しさを伝える特別講演を八戸市読書団体連合会と協働で開催
- 親子連れやこども向けの企画事業の開催



ジャーナリスト・池上彰さんによる特別講演



絵本作家まつばらのりこさんによるワークショップ

“理解と共感”を得る分かりやすい情報発信

- イベントやフェアの開催情報をSNS（X、Instagram、Facebook）等で発信
- 企画事業報告書を作成、HPに掲載し、イベントの実施状況や施設の運営状況をわかりやすく発信
- 館内の配置や棚アイコンを反映したデザインにパンフレットを改定し、来館者の利便性を向上

“施設間連携”や“事業間連携”による相乗効果の発揮

- 美術館の企画展に合わせて、関連書籍を紹介・販売するフェアの実施
- 市民大学講座の会場で講師の著書、講演テーマに合わせた関連書籍を販売

“公民連携”による公共施設の有効活用

- 書店や出版社等と連携した「本のまち八戸ブックフェス」の開催

○施設運営費の状況（単位：千円）

【支出】

	R4年度	R5年度	R6年度
人に係る経費	39,320	43,183	47,034
企画運営費	14,242	14,543	20,829
施設の維持管理費	43,397	37,874	39,026
合計	96,959	95,600	106,889

【収入（財源）】

	R4年度	R5年度	R6年度
使用料	372	418	497
その他	26,792	32,110	41,399
一般財源	69,795	63,072	64,993
合計	96,959	95,600	106,889

○来館者数等の推移

	R4年度	R5年度	R6年度
来館者数	77,205人	82,737人	89,401人

“市民ニーズ”に沿った施設運営

- 観光展示屋台の更新



“施設間連携”や“事業間連携”による相乗効果の発揮

- マチニワと連携した「まちなかキッチンカーフェス」の開催



“公民連携”による公共施設の有効活用

- 省エネ診断結果を踏まえた、館内照明LED化による維持管理経費の削減

○施設運営費の状況（単位：千円）

【支出】

	R4年度	R5年度	R6年度
人に係る経費	123,130	122,564	137,716
企画運営費	24,820	27,554	28,674
施設の維持管理費	140,844	139,570	146,391
合計	288,794	289,688	312,781

【収入（財源）】

	R4年度	R5年度	R6年度
使用料	15,397	16,336	16,174
その他	2,161	2,613	23,295
一般財源	271,236	270,739	273,312
合計	288,794	289,688	312,781

○来館者数等の推移

	R4年度	R5年度	R6年度
来館者数	578,903人	619,951人	636,998人

“市民ニーズ”に沿った施設運営

- マチニワイベント支援事業の実施による、飲食や物販を伴うイベントの開催支援
- マチニワ大道芸の実施
- はっちFRIDAY LIVE!の開催



“施設間連携”や“事業間連携”による相乗効果の発揮

- 美術館・更上閣と連携した「ヨルニワ」の実施
- はっちと連携した「まちなかキッチンカーフェス」の開催

“公民連携”による公共施設の有効活用

- 市内飲食店等と連携した「マチニワナイトマーケット」の開催

○施設運営費の状況（単位：千円）

【支出】

	R4年度	R5年度	R6年度
人に係る経費	—	—	—
企画運営費	2,156	2,348	2,265
施設の維持管理費	39,819	46,618	48,717
合計	41,975	48,966	50,982

【収入（財源）】

	R4年度	R5年度	R6年度
使用料	1,034	1,034	1,434
その他	—	—	—
一般財源	40,941	47,932	49,548
合計	41,975	48,966	50,982

○来館者数等の推移

	R4年度	R5年度	R6年度
来館者数	69,296人	51,369人	417,996人

※来館者数は、Wi-fi機能があるスマホを保有した人が5分以上6時間未満の滞在した人数をスマートフォン保有率で除して求めた推計値。令和6年度以降は、AIカメラ1分毎の検知人数のうち、前1分との増加変動分のみを来館者として算出。

4つの方向性に基づく取組事例 「長根屋内スケート場(YSアリーナ八戸)」

“市民ニーズ”に沿った施設運営

- キッズパークイベントの開催
- 人工芝コート使用料の減免試行の継続
- 一般開放日の増枠、大人のためのスケート教室の開催



“理解と共感”を得る分かりやすい情報発信

- YSアリーナで実施の大会やイベント等の施設情報について、LINEアプリ（市公式、はちまち等）、屋外デジタルサイネージやYSアリーナ公式SNS（X・Instagram（R7.6月開設））等の新たな情報発信媒体の活用

“施設間連携”や“事業間連携”による相乗効果の発揮

- マチナカまるっと1日体験事業を、美術館、ブックセンター、はっち及び図書館と連携して実施

“公民連携”による公共施設の有効活用

- サテライト施設のトライアルサウンディング事業を契機として、同施設の利用者が決定（スピードスケート靴のメンテナンスを軸に事業を展開し競技者をサポート）
- 施設の良い維持管理のための有料広告事業者の獲得（R7：4枠獲得）

○施設運営費の状況（単位：千円） 【支出】

	R4年度	R5年度	R6年度
人に係る経費	74,871	74,247	78,174
企画運営費	1,874	26,735	11,070
施設の維持管理費	358,357	306,356	334,416
合計	435,102	407,338	423,660

【収入（財源）】

	R4年度	R5年度	R6年度
使用料	28,065	30,182	31,005
その他	72,520	64,107	64,086
一般財源	334,517	313,049	328,569
合計	435,102	407,338	423,660

○来館者数等の推移

	R4年度	R5年度	R6年度
来館者数	168,807人	196,880人	235,618人

4つの方向性に基づく取組事例

「埋蔵文化財センター是川縄文館」

- “理解と共感”を得る分かりやすい情報発信
- JR東京・上野駅・品川駅とJR北海道車内誌に縄文遺跡群PR広告を掲載
 - さらに、縄文遺跡群名古屋フォーラムに合わせJR名古屋駅にPR広告を展開
 - 是川縄文館ホームページやXを始めとする各種媒体にて幅広く情報を発信
X(inorun_korekawa)のフォロワーは順調に増加

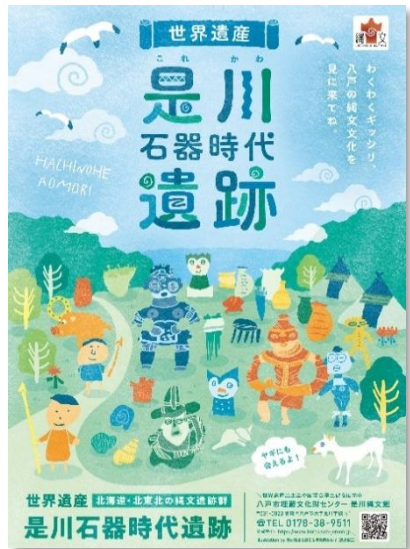
○施設運営費の状況（単位：千円）
【支出】

	R4年度	R5年度	R6年度
人に係る経費	117,886	118,404	130,751
企画運営費	29,286	27,230	36,939
施設の維持管理費	89,952	94,295	97,282
合計	237,124	239,929	264,972

○JR品川駅広告(R7.1)



○JR北海道広告(R7.7)



【収入（財源）】

	R4年度	R5年度	R6年度
使用料	4,761	5,161	4,721
その他	1,680	2,029	2,116
一般財源	230,683	232,739	258,135
合計	237,124	239,929	264,972

○来館者数等の推移

	R4年度	R5年度	R6年度
来館者数	30,358人	33,596人	32,591人

○是川縄文館公式Xのフォロワー数（人）

年.月	R6.3	R6.9	R7.10
フォロワー数	847	1,378	1,511

フォロワー数は順調に増加



いのるん

“市民ニーズ”に沿った施設運営

- 早朝からの開館、閉館時間を遅くして開館、館内BGMを流す開館時間を延長したイベント『朝活図書館・今夜はたのしまナイト！』を実施
- 利用者の利便性向上や運営の効率化のため、来館しなくてもスマートフォン等で本を読むことができる「はちのへ電子図書館」を開始



“理解と共感”を得る分かりやすい情報発信

- X及びInstagramなどを活用しイベント情報等を発信
- 図書館を使った調べる学習コンクール表彰式、電子図書館体験会、八戸市立図書館の歴史紹介コーナーを設置する「図書館まつり」を実施（予定）

“施設間連携”や“事業間連携”による相乗効果の発揮

- 図書館本館、南郷図書館及び図書情報センター並びに八戸ブックセンターが連携し、おはなし会カードの取り扱いを共通化
- 各課の事業やイベントと連動した企画展示を行い、チラシやノベルティなどもあわせて設置

“公民連携”による公共施設の有効活用

- 利用者の増加に向け、隣接する長者緑地にて、地域住民と利用者が一緒にラジオ体操をする「朝活図書館」を実施

○施設運営費の状況（単位：千円）

【支出】

	R4年度	R5年度	R6年度
人に係る経費	136,651	144,722	155,714
企画運営費	6,857	9,614	7,032
施設の維持管理費	72,690	78,064	87,385
合計	216,198	232,400	250,131

【収入（財源）】

	R4年度	R5年度	R6年度
使用料	334	306	216
その他	3,155	4,697	4,382
一般財源	212,709	227,397	245,533
合計	216,198	232,400	250,131

○来館者数等の推移

	R4年度	R5年度	R6年度
来館者数	259,224人	240,644人	172,898人

※本館は、冷房設備等更新工事のため、令和6年3月1日～8月7日は休館。

“市民ニーズ”に沿った施設運営

- 展示等リニューアル改修により、既存の収蔵・展示環境の適正化を図るとともに常設展示を刷新
- 公共施設長寿命化事業により、空調設備及び高圧受電設備を改修
※令和7年10月6日（月）から令和9年6月30日（水）まで休館予定

“理解と共感”を得る分かりやすい情報発信

- Xなどを活用しイベント情報等を発信

“施設間連携”や“事業間連携”による相乗効果の発揮

- 図書館と連携し、「市民のための歴史講座」を開催
- 南部氏にゆかりのある北東北3県の15市町村17城館と連携し、南部「御城印プロジェクト」を実施、御城印等の販売

“公民連携”による公共施設の有効活用

- 子どもとつくる「おもしろ八博」事業において、地元の木工からくり作家と連携し、小学校でワークショップを開催
- 省エネ診断の結果を踏まえ、館内照明LED化による維持管理費の削減

○施設運営費の状況（単位：千円）

【支出】

	R4年度	R5年度	R6年度
人に係る経費	63,492	77,461	87,851
企画運営費	17,488	16,019	14,976
施設の維持管理費	49,882	55,793	57,225
合計	130,862	149,273	160,052

【収入（財源）】

	R4年度	R5年度	R6年度
使用料	2,070	2,985	3,216
その他	2,940	3,875	2,709
一般財源	125,852	142,213	154,127
合計	130,862	149,273	160,052

○来館者数等の推移

	R4年度	R5年度	R6年度
来館者数	14,520人	18,712人	19,775人